

エシカル消費について知って、消費行動を見直してみよう!

富山大学 人間発達科学部/教育学部(藤本研究室) 茶木, 築山, 戸田, 三上

エシカル消費とは

人や社会、環境、地域など周囲に配慮した消費行動をすることです
「エシカル(ethical)」=「倫理的・道徳的」

持続可能な開発目標(SDGs)の12番目は「つくる責任 つかう責任」です

地球ですっと暮らしていくために
持続可能な消費と生産の形態を確保する



エシカル消費はこれに関連します

私たちは日々の生活の中で、さまざまな商品やサービスを購入しています。そして、良いものを買いたいと思ひ、商品やサービスを選んでいると思ひます。その際に、私たち消費者には下記のような8つの権利がありますが、同時に5つの責任もあるとされています(国際消費者機構:CI)。

消費者の8つの権利	消費者の5つの責任
①生活の基本的ニーズが保障される権利	①批判的意識を持つ責任
②安全を求める権利	②主張し行動する責任
③知らされる権利	③社会的弱者への配慮をする責任
④選択する権利	④環境への配慮をする責任
⑤意見を反映させる権利	⑤連帯する責任
⑥補償を受ける権利	
⑦消費者教育を受ける権利	
⑧健全な環境を享受する権利	

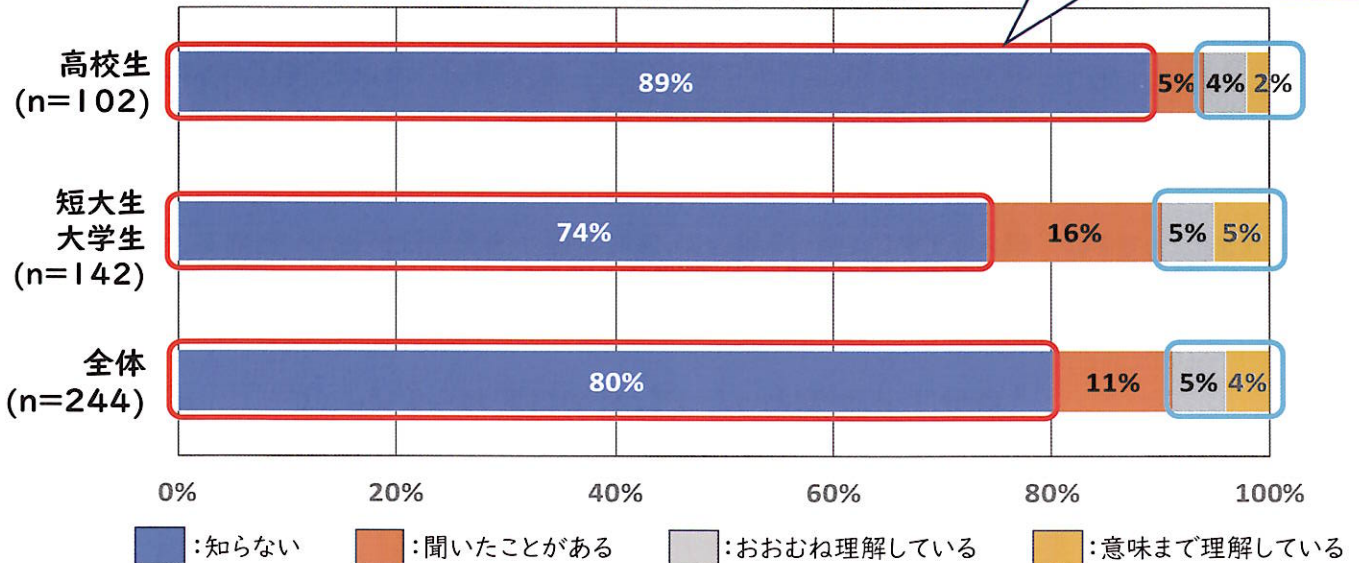
[出典]
新しい技術・家庭(家庭分野)自立と共生を目指して、
東京書籍
国際消費者機構(CI:Consumers International)

アンケート調査の結果(R5年10月実施)

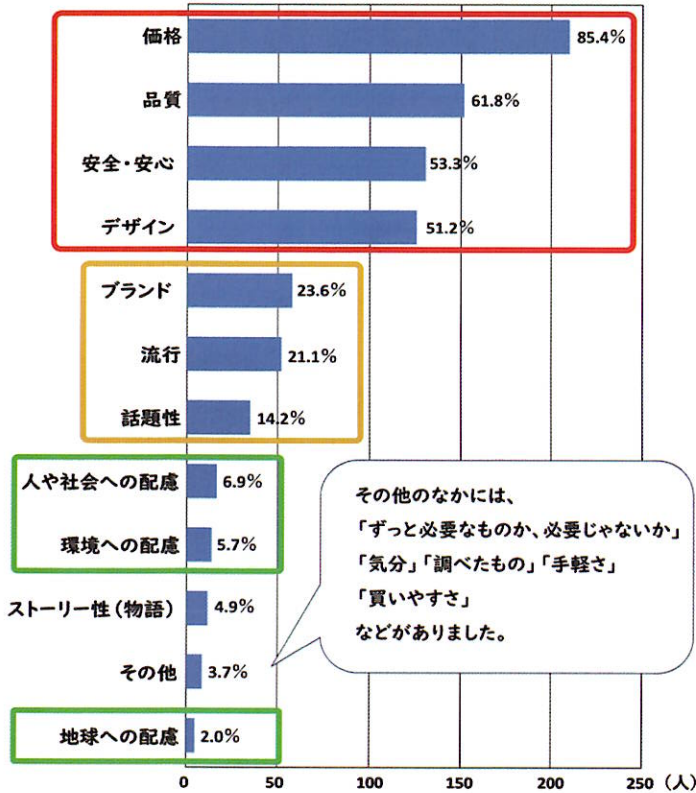
対象:高校生・短大生・大学生

「エシカル消費」の認知度

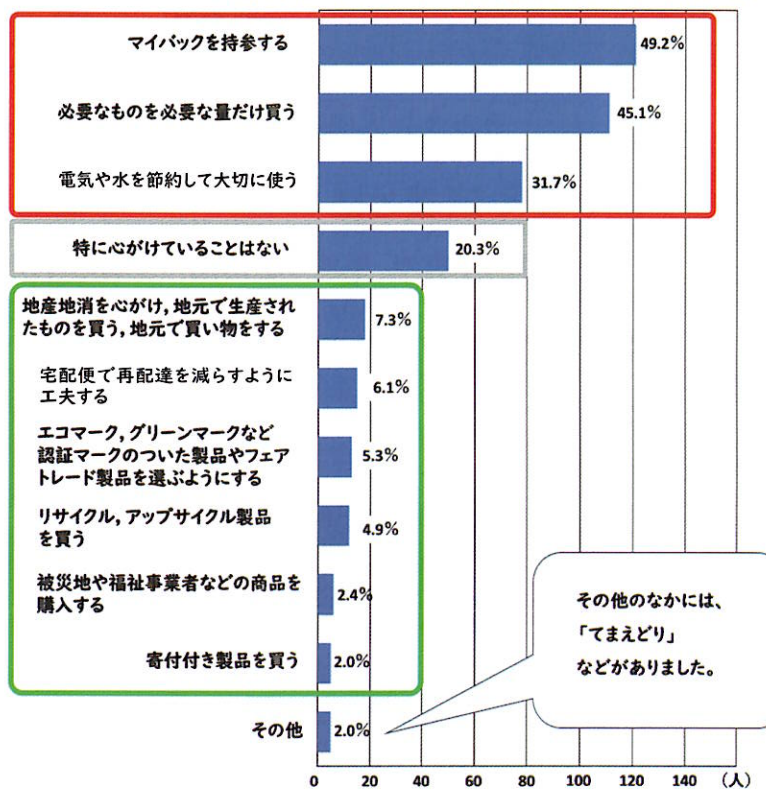
若年層には、まだ、あまり知られていない言葉なんだね



商品やサービスを購入する際に重視すること (n=243)



「エシカル消費」に関する行動の中で、実践しているもの (n=217)



●エシカル消費のために実践できること：実践している人の割合が少なかった消費行動に着目して

1 地産地消を行う
なぜ？

地元のお店や地元で作られた商品を買うことで、地域経済が豊かになる。地元の生産者を応援できる。食料の輸送にかかる距離(フードマイレージ)が削減できる。生産地が近いため、新鮮さが保たれる。

2 再配達を減らす
なぜ？

再配達には自動車を使って行われることが多いため、これを減らすことは輸送の際に排出されるCO₂の減少につながる。配達員の労働時間の改善にもつながる。

3 エコマーク、グリーンマークのついた商品、フェアトレード製品を買う
なぜ？

エコマーク、グリーンマーク：作る時に環境にかかる負荷が小さくなるように、資源が枯渇しないように配慮して作られた商品だから。
国際フェアトレード認証ラベル：生産者への適正な価格の支払い、労働環境保護、農業使用規制などの基準を満たした製品につけられるから。

4 被災地や福祉作業所などの商品を買う
なぜ？

ボランティアをしに実際に現地に行くことが難しくても、被災地で作られた商品を買うことで、復興を応援できる。福祉作業所などで作られた商品を買うことは、それを作った障がいのある方の自立支援につながる。

5 てまえどりをする
なぜ？

購入してすぐに食べる場合に、賞味期限や消費期限が近づいた商品、つまり棚の手前にある商品から、積極的に選ぶことで、小売店において期限が過ぎて廃棄されることによる食品ロスの削減につながる。

「自分1人が変わったって、社会は変わらないよ」と思うかもしれませんが、できることから始めたり、自分の消費行動を見直したり、意識することが大切です。

私たちの未来を変える「エシカル消費」を実践してみませんか！

